

参加者募集

岩手県

陸前高田市

教育旅行 FAMトリップ
モニターツアー



開催日 令和7年2月19日(水)
～令和7年2月20日(木)

探求学習プログラム

「復興の現状とそこに関わる“人”たちから学ぶ」

2011年の東日本大震災で大きな被害を受けた陸前高田市。

その震災からもうすぐ14年。大きな変動の中、被災から店舗の再建を果たした店主、
当時高校生だったいまは社会人の大人、震災後に移住から起業をした人たちなど、
多様な人と出会うプログラムのモニターツアーです。

様々な社会課題に対して主体的に行動をしている人たちから「生きる力」を学び、
生徒のみなさんがこれから社会に対してどのように行動をしていくのかを考える「きっかけ」
を陸前高田から持ち帰ってみませんか。



募集人数
20名

旅行代金 無料(※)

※ 行程に記載している交通費・宿泊費・食事代・ガイド料等(諸税・サービス料含む)が含まれます。
但し、ご自宅または前泊地～集合場所・解散場所～ご自宅等の交通費や、個人的な費用は自己負担とさせていただきます。(詳しい行程は裏面に記載)

※ 本ツアーは陸前高田市観光物産協会が実施する「教育旅行誘致活動及びコンテンツ造成・開発事業」の一環として行われるモニターツアーです。

対象

- 関東エリア又は名古屋市に所在する中学校・高等学校の学校関係者様(教員/学校管理職)
- 観光事業者及び旅行事業者の教育旅行担当者様

【主催】一般社団法人陸前高田市観光物産協会
【協力】株式会社陸前高田アメイジングトリップ・ビューロー

< 令和6年度陸前高田市委託事業 >

モニターツアー参加条件

- 20～80名程度の生徒を伴った陸前高田市への教育旅行をご検討中、あるいは陸前高田市での探究学習またはSDGsプログラムにご関心があること
- JR東京駅または名古屋小牧空港を発着できること
- 終了後にアンケートへの回答をご提出いただけること
- 本ツアーにご参加いただくにあたり、その様子を取材・撮影が可能であること
- 写真等を陸前高田市観光物産協会のガイドブックやホームページ・SNSに掲載の他、外部への報告や資料作成、広報などに使用することをご承諾いただけること
- ツアー催行中、マスコミ等の取材撮影が入る場合がありますので、予めご了承ください。
- 学校関係者(教員/学校管理職)、観光事業者及び旅行事業者が同行にて行動することにご了承をいただけること

応募方法

「令和6年度 岩手県陸前高田市教育旅行モニターツアー(東京駅発着)」の本募集要項をご確認いただき、ご理解の上、応募いただきますようお願いいたします。

- **申込期間** : 令和6年12月23日(月)～令和7年1月15日(水) 12:00 まで
- **募集** : 一校または一社につき2名までといたします。

※応募多数の場合は事務局にて選定させていただきます。

- **申込方法**: 下記URLまたは右記QRコード先の申込フォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/i3goCfFUFzhu93V76>

お申し込み



特設ページ



注意事項

台風・地震・火災・大雪などの不可抗力の天災やその他、やむを得ない理由によりモニターツアーの延期、中止を判断させて頂く場合がございます。

震災から14年目を迎える今、
行動を起こして人たちがいたからこそ今があります。
そんな地域の人たちと出会うをテーマに
市内をめぐる2日間です。



復興が進む新中心市街地

DAY1 / 2月19日(水)

- ▶ 東京駅発 8:45
- ▶ 名古屋 小牧空港発 7:53

- 13:00 陸前高田市内「まちの縁側」に集合
- 施設見学 / 東日本大震災津波伝承館 → ● 昼食
- **地域の人と出会う① / 「まちの復興」**
 - ・震災後10mのかさ上げをした街の中心地の商店を訪問
 - ・どのように事業を再生したのか、気持ちの変化や困難だったこと
- 夕食
- **地域の人と出会う② / 「地域文化の復興」**
 - ・被災エリアに本来あった発酵文化を取り戻す人たち
 - ・その想いを持って作られた施設に込められた想いや、該当地域で活動をしている人からのお話。
- 宿泊ホテルへ

※ 本ツアー専用の便がありますのでそちらをご利用ください。

※ 東京駅・名古屋(小牧空港)発着の便の詳細は、右上QRコード先の「特設ページ」よりご確認くださいませ。

DAY2 / 2月20日(木)

- **地域の人と出会う③ / 「お寺での学び」**
 - ・住職よりお話、お寺が地域で果たす役割について
 - ・地域を自分ごととして捉える主体性について
- **地域の人と出会う④ / 「民泊家庭との交流」**
 - ・民泊家庭への訪問
 - ・風土や暮らしが違う地域を通じた交流
- **地域の人と出会う⑤ / 「地域としての防災力」**
 - ・地域の絆から生まれた『仮設集落』を経た地域のいま
 - ・被災した住民が元いた地域で暮らし続けられるよう主体的に活動を続けてきた地域から
- 昼食 → ● 道の駅高田松原へ
- 14:00 解散 ▶ 東京駅着 18:56
▶ 名古屋 小牧空港発 18:25

お問い合わせ

一般社団法人 陸前高田市観光物産協会
【MAIL】 rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp

TEL 0192-54-5011
【教育旅行担当】 小林